

番 号	2-3	受付年月日	令和2年4月24日
件 名	陳情書 町道の集落内拡幅をお願いする件について	陳 情 者	布沢区長 菅家 英祐
紹介議員		付託委員会	経済文教常任委員会

## 陳情全文

令和2年4月24日

只見町議会議長 大塚 純一郎 様

布沢区長 菅家 英祐

陳情書 町道の集落内拡幅をお願いする件について

### 陳情の主旨

平素は、布沢集落の各種振興施策にあたりましては、特段のご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本集落の太田地内の道路狭隘区間解消について特段のご配慮を賜りたく関係者連署をもって陳情申し上げます。

すでに太田地内の危険な道路状況についてはご存じと思いますが、道路幅員が極端に狭く対向車両とのすれ違い通過も困難なうえ、集落内は車両の一時停車もできない状況にあります。高齢化の中で唯一頼みの移動販売車が来てもゆっくり駐車するスペースさえありません。更に、スクールバスなどは集落上流の「猫淵の清水」の広場でUターンしなければならない不便を強いられています。

末端集落は今、人口減少と少子高齢化の中で、その存続が問われております。町の中心から遠い集落の定住環境の整備は、なんといっても買い物や医療、福祉など、日常生活に必要な様々なサービス機能を担う町の基幹集落との間の時間短縮を図ることだろうと考えています。

私たちも、当区の有する恵まれた資源、「恵みの森」「癒しの森」「木地師集落跡」「福寿草やカタクリの群生地」などを活用して、都市住民との交流を基盤とした『第二の故郷づくり』運動を展開し、持続可能な集落を創りたいと頑張っておるところであります。

しかし 道路改良だけは、私たち区民の努力では対応できませんの、実情をご賢察くださいまして、一日も早い道路改良を施工していただきたく関係者連署をもってお願い申し上げる次第であります。